

### 外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	地域に向けてのホームだよりを発行し、回覧版でホームの案内や認知症の啓発を行っている。近所からは芋掘りに誘われたり、小学校からミカン狩りに招待されている。近所のボランティアが毎週訪れ、外出などを手伝ってくれる。隣接施設のふれあいサロンでハウスマネージャーが講師となり、地域住民向けに認知症の講習会を今年開催した。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	職員、地域代表、入居者、家族、施設長、ハウスマネージャー、ケアマネジャー、職員出席の下、隔月で開催され、事故報告、外部評価の結果、今年度の受審予定等を報告している。ハウスマネージャーは、より地域に溶け込むために、入居者の外出に力を入れ、近所との交流も増え、馴染みの店では車いすの誘導もしてもらえるようになった。	
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	今年スプリンクラーの設置にあたり、補助をめぐって市と何回も交渉した。設置後は市の職員がホームを訪れ設置状況を確認した。介護認定更新時には、市の職員の立会いの下、入居者の現状を詳細に伝えている。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	各職員、2名ほどの入居者を担当し、毎日どんな些細な出来事、あるいは本人のつぶやきでも全て、携帯端末からパソコンに入力し、それを毎日プリントアウトして申し送りしている。日々の状況から細かな変化に気づき、職員一同で会議にかけプランの見直しに繋げている。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	
総合評価		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

母体は社会福祉法人であり、研修計画もそのためのテキストも全て法人で整え、確固たる職員教育の基盤が確立されている。入居時から重度化対応指針、ターミナル非対応であることが説明され、家族も同意している。重度化した場合は、隣接する施設で優先的に対応してくれるため、家族の安心にも繋がっている。個別の外出に力を入れており、普段は聞けない話を聞き出せる好機でもあるため、あえて気の合った職員を同行させている。入居者は活発にできる作業を自ら進んで楽しんで行っている。

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	（例示） 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。  地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	（例示） 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。  運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	（例示） 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。  利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。  家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。